



シルバー人材センターシンボルマーク

このマークは、全国のシルバー人材センターで働く高齢者が広く連携し、共に働き、共に助け合っていくことをめざして作成したものです。

デザインは、シルバー（Silver）の「S」とセンター（Center）の「C」で飛翔する鳥と、動き出す人の姿を表現しています。



第48号

平成26年1月1日

発行

公益社団法人

安曇野シルバー人材センター

住所

安曇野市豊科5126-1

TEL 0263-72-5800

FAX 0263-73-6484



わさび田

新年のご挨拶

理事長 横山 幸久



新年あけましておめでとうございませう。会員の皆さまには、平成26年の新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

安曇野市並びに地域の皆さまにおかれましては、シルバー人材センターの事業にご支援とご理解を賜り有難く感謝申し上げます。

昨年は、景気回復の実感のないなか、補助金の大幅な削減、適正就業の推進など厳しい現実の中で、明るい話は2020年オリピック・パラリンピックの東京招致でした。当センターとしましては、安全・適正就業（事故ゼロ・法令遵守）と会員募集、就業開拓に取り組み、地域の皆さま並びに会員の皆さまのご協力をいただき、11月末の事業実績は前年度の3%の増になりました。

今年も「安全は全てに優先する」「けがをしない・させない」を合言葉に、みんなで取り組み、地域の皆さまの信頼を得るよう努め、健康に留意していただき無事故で安全な就業をお願いします。更に**会員募集と就業開拓に努め、健康長寿（健康で働くことにより医療費の減・介護予防など）と生きがいへの道（仲間づくり・趣味を持つなど）**に取り組みしましょう。会員の皆さまのご協力をお願いします。

新年にあたり、安曇野市の発展と会員並びにご家族の皆さまのご多幸とご健勝をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。





# 新年のご挨拶

安曇野市長 宮澤 宗弘

明けましておめでとうございます。皆様方には希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。旧年中は横山理事長様をはじめ安曇野シルバー人材センター会員の皆様には、市政全般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

貴センターの活動は、就業を通じて地域の活性化や福祉の向上に寄与されており、高齢者の健康維持や社会参加の促進等、市が掲げる「健康長寿のまちづくり」に大いに貢献をいただいております。日頃のご支援に深く感謝申し上げます。

毎年多くの仕事で、市民や企業から寄せられておりますことは、会員の皆様への期待と信頼の表れであり、何事にも代えがたい誇りであると存じます。

少子高齢化が急速に進む今日において、高齢者がいつまでも健康で生き生きと自立した生活が送れるよう、高齢者社会を支える中核的な組織として、シルバー人材センターの担っている役割は一層重要なものとなっております。

市といたしましても会員の皆様が長年培ってこられた確かな知識、経験、技能を生かし、社会を支える一員として活躍できますよう、今後ともシルバー人材センターの運営を支援して参りたいと考えております。

結びに、安曇野シルバー人材センターの益々のご発展と平成26年が会員の皆様にとって、健やかで実り多い一年でありますことをご祈念申し上げます。ごあいさついたします。

明けましておめでとうございます

本年もよろしく  
お願いいたします

## 今年も、親切・丁寧の仕事で 信頼を高めましょう みんなで、安全確認 事故ゼロを 目指しましょう

- |       |       |
|-------|-------|
| 理事長   | 横山 幸久 |
| 副理事長  | 山田 裕也 |
| 専務理事  | 飯沼 常雄 |
| 理事    | 場々 修三 |
| 古幡 菊子 |       |
| 寺嶋 春樹 |       |
| 中野 哲也 |       |
| 石川 照義 |       |
| 佐々木胤明 |       |
| 尾日向 洋 |       |
| 鹿川 祥彰 |       |
| 宮島 寿宏 |       |
| 大日方 泉 |       |
| 手塚 溥修 |       |
| 職員一同  |       |



## 平成25年度 事業実績 (4月～11月)

### 会員の努力により昨年の実績を上回る

11月までの契約実績は、景気回復の実感はいまだになく、適正就業の見直しによる厳しい状況にあって、本年度は、みんなで安全・適正就業(事故ゼロ・法令遵守)と会員募集・就業開拓に取り組み、魅力あるセンターづくりを進めてきました。公共をはじめ地域の皆さまからシルバーへの仕事をお請けし、実績は4億3430万円、対前年比1530万円の増(103.6%)を収めました。

会員数は934名、本人の望む仕事がない、仕事観の多様化で厳しい中107名の入会と64名の退会がありました。会員の募集は、当面の課題として広く声をかけて、健康長寿と生きがいへの道に、取り組むこととします。

部門別に見ますと、受注件数は、前年比74件の減(98%)になりました。事業実績は、公共は前年比100%と前年並、民間事業所は前年比105%、一般家庭は前年比100%。就業開拓の取り組み

#### ● 4月～11月 就業実績

| 区分                 | 本年度    | 前年度    | 前年比%   |
|--------------------|--------|--------|--------|
| 会員数                | 934人   | 942人   | 99.2%  |
| 就業延日人員             | 86,299 | 83,294 | 103.6% |
| 就業率                | 94.4%  | 93.5%  |        |
| 受注件数(件) / 契約金額(万円) |        |        |        |
| 受注件数               | 3,904件 | 3,978件 | 98.1%  |
| 公共                 | 6,496  | 6,476  | 100.3% |
| 民間事業所              | 27,418 | 25,960 | 105.6% |
| 一般家庭               | 9,516  | 9,464  | 100.5% |
| 計                  | 43,430 | 41,900 | 103.6% |

#### ● 契約金額の推移 (単位: 万円 前年比%)

| 月別  | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 計      |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 本年度 | 4,476 | 5,288 | 5,688 | 5,795 | 5,503 | 5,475 | 5,882 | 5,323 | 43,430 |
| 前年度 | 4,311 | 5,559 | 5,565 | 5,610 | 5,247 | 5,262 | 5,602 | 4,744 | 41,900 |
| 前年比 | 103.8 | 95.1  | 102.2 | 103.3 | 104.6 | 104.1 | 105.0 | 112.2 | 103.6  |

## 独自事業(たまねぎ栽培)

当センターでは、独自事業として「門松・松飾りづくり」を実施しております。平成26年度から「たまねぎ栽培」に取り組むこととします。

理事会の承認を受け今年度は試作として、土地(豊科地籍)の借入れと苗を植え付け(60,000本)に伴う材料費のみで、就業希望会員の協力で実施しました。安曇野の「たまねぎ」は好評を得ていますので、生育に期待しています。収穫後の売上については、会員の皆さまの協力をお願いいたします。結果を見て、26年度事業として栽培地を広げて取り組むこととします。



## 企業訪問の実施

### || 就業機会の拡大 ||

高齢化の一層の進展に伴い、シルバー事業の必要性は益々高まっています。しかし、国庫補助の減額や運営補助から事業費補助への切り替え、適正就業の見直しなどシルバー事業を取り巻く環境は厳しい状況にあります。

こうした状況を踏まえ「自主・自立」の理念に則り安定的な財政・事業運営を図るべく「就業機会の拡大」「会員の拡大」が必要となつてきております。

そこで昨年12月、受注企業50社を対象に理事・地区担当で企業訪問を実施しました。

## 事務局職員の異動

死亡退職 10月20日

事務局次長兼業務係長 増田ちえ子

異動 11月1日付

事務局次長兼業務係長 飯沼 常雄

事務局次長兼総務係長 藤原 晶子



### 安全委員会だより

#### 平成25年度の安全パトロールと事故発生状況

●平成25年度の安全パトロールの結果

安全パトロールを7月23日に行いました。今年には事故の発生しやすい草刈り及び剪定作業など現場を中心として実施しました。注意すべき点はその場で指導し大きな問題はありませんでした。

#### 草刈り作業現場

- ・ピーバーによる飛び石、自動車の窓ガラスの破損などの事故防止
- ・作業員の間隔は10m以上確保
- ・保護具の完全着用
- ・剪定作業現場
- ・ロープ固定による脚立の転倒防止
- ・保護具の完全着用

熱中症対策などに留意していましたが、名札を着用して就業してください。(名札を着用することにより発注者の信頼をうけます)

#### ●事故発生状況

本年度は、安全・適正就業(事故ゼロ・法令遵守)の重点実施事項として、会員の就業時は、安全作業基準の遵守と交通事故防止及び日常の健康管理に取り組み、特

#### ●傷害事故

| 種別  | 発生日             | 事故の概要                    | 傷害部位   | 傷害程度      |
|-----|-----------------|--------------------------|--------|-----------|
| 就業中 | 6月13日<br>(女)68歳 | 工場内で荷物を移動中スノコ板の通路で尻から転んだ | 腰部圧迫骨折 | 全治<br>6週間 |

#### ●賠償事故

| 種別  | 発生日              | 事故の概要                           | 損害程度        |
|-----|------------------|---------------------------------|-------------|
| 就業中 | 6月12日<br>(男)71歳  | 別荘の敷地内ピーバー草刈り中、石を飛ばし建物のガラス破損    | 建物の窓ガラス1枚   |
| 就業中 | 9月7日<br>(男)69歳   | 農道を7人で作業、ピーバーで草刈り、走行中の車の窓ガラスを損傷 | 車の窓ガラス1枚    |
| 就業中 | 9月30日<br>(男)65歳  | 洗車作業中、無線のアンテナを倒したままドアを開けて車を損傷   | 車の傷         |
| 就業中 | 10月11日<br>(男)75歳 | 道路を6人で作業、ピーバーで草刈り、走行中の車の窓ガラスを損傷 | 車のフロントガラス1枚 |
| 就業中 | 11月3日<br>(男)71歳  | 道路をピーバーで草刈り、走行中の車の窓ガラスを損傷       | 車のフロントガラス1枚 |

に始業時のミーティング実施の深度化に努めました。11月末現在、傷害事故1件、賠償事故5件の事故がありました。(草刈りピーバーによる事故多発 要注意)  
会員の皆さん、事故防止の意識を高め事故ゼロを目指して、自分のため、家族のため無事故で過ごしましょう。

安全はすべてに優先する

## 中期5カ年計画について

豊富な経験と能力を活かし働き喜びと社会参加をテーマとして、中期5カ年計画を策定しました。

#### ●策定の趣旨

シルバー人材センターの事業は、地域の担い手さらには地域のセーフティネットとして、超高齢化社会に欠かせない存在となっています。

しかし、厳しい経済情勢の影響により受注の減、町村合併によりセンターを統合して、単独となり広域加算がなくなり、加えて国の事業仕分けによる補助金の大幅削減、適正就業の推進による事業量の減少などシルバー事業をとりまく環境は、かつて経験したことのない厳しい状況になっています。

こうした様々な変化を的確にとらえ、持続可能な安定した経営を進めるため、「中期5カ年計画」を策定しました。この計画は会員・役員・事務局職員の間で共有し、

●計画の期間……平成25年度から29年度までの5カ年

●計画の数値目標…この目標値は、センター事業の指針となるものですが、期間内の社会情勢の変化などに弾力的に目標値の見直しを加えていくこととします。

| 目標年度   | 会員数(人) | 契約金額(千円) | 就業率(%) |
|--------|--------|----------|--------|
| 平成29年度 | 1,100  | 600,000  | 100    |

注：内容については、地域の懇談会において説明します。

## チェンソーの講習会

### 初めて実施

11月27日(水)に44名が参加してチェンソーの講習会を、明科「天平の森」で行いました。最近チェンソーを使用する仕事の依頼が増加しており、また、他センターではチェンソーによる傷害事故がありました。安全のための講習会が必要で、ハスクバーナ・ゼノア(株)と森倶楽部21から講師を迎え、安全対策や保守点検、実技などの細かな話しを伺うことができました。チェンソーの事故は、一歩間



明科「天平の森」

## 安全・適正就業推進大会

10月17日(水)諏訪市「華乃井ホテル」で安全・適正就業推進大会が開催されました。

初めに、安全・適正就業標語の表彰式では、県内の拠点シルバーから734名の応募の中から入選作品5点の表彰が行われました。講演では「いきいきシルバーのためのはつらつ体操」について、

ここから体操運動指導員の葛岡佳子さんの実技を交えたお話がありました。

研修では「安全就業とマナーについて」津田連合会安全・適正就業パトロール指導員の講義があり、当シルバーからも会員が参加しました。

## 事業普及啓発促進月間

10月は「事業普及啓発促進月間」で普及啓発のチラシを安曇野市内の全戸に配布しました。特に明科地域は班長さん方の協力をいただきました。仕事の依頼や紹介がありました。日頃お世話になってる公共施設に感謝を込めて、ボランティア活動を195名の参加で行いました。



豊科地区 (県立こども病院)



穂高地区 (穂高会館)



三郷地区 (三郷福祉センター)



堀金地区 (社協堀金支所周辺)



明科地区 (旧明科公民館)



# 役員視察研修に参加して

副理事長 山田 裕也

## 平

成25年9月5日、役員による視察研修会が中野広域シルバー人材センターにて開催されました。平成25年3月末現在で、両センターを比較してみると、中野広域シルバーの会員数は男723名・女429名・合計1152名、年間契約額4億9117万円、内訳は公共27.6%、民間72.4%です。因みに安曇野シルバーは、会員数男573名・女318



名・合計891名、契約額は5億5945万円、内訳は公共15.2%、民間84.8%です。役員数21名に対し当センターは14名、職員数13名に対し当センターは9名となっております。

## 独

自事業では、江戸時代から「創作土人形製作販売」と、主にプラント用として市に販売するパンジー・ビオラ等の「花苗育苗販売」があり、年間各2百万円余の売上を計上していました。

## 配

分金明細書について、当センターでは該当者に毎月送付しているが、中野広域シルバーでは必要な人に事務所へ取りに来てもらっているとのことでした。当センターとしても、次年度から取り組みたいと検討しておりますので、会員の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

## 会

員の皆さん、シルバー人材センターを取り巻く環境は厳しいものがあります。お互いに受注業務に関する情報提供ならびに発掘に心掛けていきましょう。

# 平成25年の配分金支払証 明書について

平成25年の1年間（1月振込～12月振込まで）の配分金支払証明書を発行して、1月16日頃圧着ハガキでご自宅へ郵送します。

## 地区懇談会について

平成25年度の地区懇談会は、2月末から3月初旬に各地区で開催予定です。通知を差し上げますので、大勢の皆さまの参加をお願いいたします。

## 配分金の振込日

- 1月分は2月20日（木）
- 2月分は3月20日（木）
- 3月分は4月18日（金）
- 4月分は5月20日（火）
- 5月分は6月20日（金）
- 6月分は7月18日（金）

## お悔やみ

### 職員

増田ちえ子様 平成25年10月20日

### 会員

西澤エイ子様 平成25年8月11日

田口 登久様 平成25年11月11日  
ご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈りいたします。

## 編集後記

平成26年の新春を皆様お健やかに迎えられたことお慶び申し上げます。昨年は、猛暑、大型台風、竜巻と相次ぎ日本列島に大きな爪痕を残しました。年々異常気象の被害が拡大し、自然の猛威を痛感した年でした。

日本経済は、アベノミクスによりやや上昇傾向にあるとはいうものの、当シルバーには厳しい現状が実感です。会員一人一人が「健康長寿」をめざして日々務めて参りましょう。

今後も充実した会報を発行するにあたり皆様のご協力をいただき、皆様に読んでいただける会報を目指してがんばります。

### 調査広報部会

古幡菊子 尾日向洋

佐々木胤明